

須磨ゆかりの 芸術祭 2025



摂津国の西端にある、景勝地である須磨は、かつては在原行平がわび
住み、現代にも伝わる多くの文学作品などに往時を偲ぶことができます。
須磨の地は、古今和歌集、源氏物語、そして平家物語にも描かれ、中世
の芸能にも取り上げられました。そこで『須磨の歴史・文化』を掘り下げて、
『須磨ゆかりの芸術祭 2025』として、芸術・芸能の幅広い分野から活躍
のアーティストたちが、大本山須磨寺に集います。芸術の秋！ぜひ須磨
の調べをご堪能ください。



2025年10月13日(月・祝) 14時～16時 (開場13時30分)

場所：大本山須磨寺青葉殿講堂

入場整理料：2000円(先着定員100名)

演奏 一絃須磨琴 一絃須磨琴保存会のみなさま
「平家抄」

演奏 琵琶の調べ 筑前琵琶 川村旭芳

鼎談 田辺真人(園田学園女子大学名誉教授) ×
川村旭芳(琵琶奏者) × 小池陽人(大本山須磨寺副住職)

古代から中世の須磨。須磨ゆかりの物語、伊勢物語、源氏物語から平家物語まで。
大本山須磨寺の由緒、須磨が歩んできた歴史、芸術文化のなりたちについて、各
分野のみなさまからお話をいただきます。

2025年11月8日(土) 14時～16時 (開場13時30分)

場所：大本山須磨寺青葉殿講堂

入場整理料：2000円(先着定員100名)

間狂言語「那須語」(なすのかたり) 能楽師狂言方大蔵流 善竹隆司
源平の合戦を描いた能「屋島」の替間狂言

演奏 『フルート 下田幹 & ピアノ 三重野奈緒』



記念法話「敦盛最期と諸行無常」 小池陽人(大本山須磨寺副住職)

平家物語の冒頭で有名な「諸行無常」という仏教の教えを敦盛最期の話
とともにお伝えします。戦後80年、戦争の無益さを伝える敦盛の哀話を
皆さんとともに学び考える時間にしたいと存じます。



山陽電車「須磨寺駅」下車8分
大本山須磨寺境内 青葉殿

*当日午前10時の時点で、兵庫県南部に大雨・洪水・暴風ほかの警報が発令されているときはイベントを
中止します。
*上記の演目などは、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

企画・制作 矢下幸司(日本経済大学経済学部教授)

主催 大本山須磨寺、一般社団法人都市文化観光研究機構・はんしんかん DMO 合同会社

後援 サンテレビジョン、Dジャーナル

協力 日本経済大学神戸三宮キャンパス

お問い合わせ 大本山須磨寺 電話078-731-0416